

真冬でも潜ります

冷たい風が吹き抜ける頃、陶史の森で一番大きな池「林泉の池」で野鳥を観察していると、湖面に小さくて丸っこい鳥が浮かんできました。目を凝らして見てみると、魚をくわえています。こちらに気付くとアツという間に潜ってしまい、しばらくしてから、かなり離れた水面に再び浮かび上がってきました。野鳥の中の潜水名手「カイツブリ」です。

カイツブリの足は、まるで舟をこぐ櫂のようです(写真下)。この櫂で水をかいて「ツブリ」という水音を立てて潜るので「カイツブリ」と呼ばれるようになったという説があります。また「ツブリ」は、小さい、丸いという意味があり、ほかの水鳥より小さくて丸っこいカイツブリにはぴったりの名前かもしれません。

カイツブリはめったに歩きません。主に水上で生活し、15～30秒ほど潜水することが可能で魚や貝、ザリガニ、大きな水生昆虫などを食べています。

毎年この時期になると、2羽、4羽…と偶数のカイツブリを林泉の池で見ることができます。どうやらここでカップルになっているようです。今年の8月には、2羽のカイツブリが巣立っていきました。カイツブリのように、「陶史の森が生まれ故郷」の動植物が増えていくといいですね。



カイツブリ (冬毛)



カイツブリ (夏毛)

森	の
日	記

きのこ教室 10月6日(日)



約20人の参加者は、講師の先生からキノコについての基礎知識を教わり、陶史の森のあちこちを散策しながらキノコを採集。机の上に並べて名前や食用かどうかなどを詳しく教えてもらいました。多くは毒キノコなので、注意しましょう。

中学生の職場体験

10月31日(木)・11月1日(金)



西陵中学校2年生3人が陶史の森へ職場体験学習に訪れました。ウサギや鳥類、羊などの飼育施設の清掃や餌やり、トイレ清掃、遊歩道のごみ拾い、花壇の手入れなどに汗を流しました。「とても疲れたけれど、楽しいこともありました」「お父さんやお母さんは大変なんだなぁと思います。感謝しなくっちゃ」と語ってくれました。

教室のご案内

12月

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

12月22日(日) 9:00～11:30

冬の野鳥を観察します。

平成26年1月

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

1月26日(日) 9:00～11:30

厳冬の野鳥を観察します。

カラー版『陶史の森“散策”MAP』を発行しました！

とても見やすいイラスト地図や見どころ、遊びどころなどが満載の散策マップができました。マップは陶史の森ネイチャーセンターまたは土岐市役所産業振興課で無料配布しています。お気軽にお越しください。

また、平成26年4月に「市民便利帳」が発行され、「土岐市の見どころ」や「土岐市の公共施設」の項目に『陶史の森・雲五川せせらぎ公園』が紹介されます。お楽しみに！

